

一応供覧	文書分類		保存年限	13510永
議長	局長	書記	主任	担当



令和6年11月27日

津南町議会議長 恩田稔 様

議席番号 9番

議会議員 栞原洋子



一般質問の通告について

令和6年12月11日開会の第4回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1、津南病院大規模改修に向けた財政計画を問う	<p>国は、2022年公立病院の経営強化ガイドラインを策定した。</p> <p>コロナ感染症を経験し、公立病院の役割の認識が深まり、「公立病院の再編統合」方針は消え、病院間の役割分担の明確化や、医師・看護師等の確保の平時からの取り組みが必要と明記された。今年3月策定の津南病院経営強化プランも国の方針に沿って立てられている。</p> <p>魚沼医療圏での救急指定病院は、魚沼基幹病院、十日町病院、津南病院の3カ所であり、救急医療での役割が高まっている。</p> <p>町長は今年3月議会で、津南病院の診療所化は考えていないと答弁。また9月議会では、施設の老朽化対応については保育園整備後、病院大規模改修に向けて検討を進めていくと答弁。</p>	町長



	<p>築50年を迎える津南病院の建て替えは大事業である。来年度の予算編成を前に目的基金の設置など、財政見通しを立て着実に実行されることを求めるが町長の決意を伺う。</p>	
<p>2、マイナ保険証の問題点と、紙の保険証存続への見解を問う</p>	<p>今、全国で「マイナ保険証押し付け反対、保険証を残せ」と全国保険医団体や一般土建労組、障害者団体などから保険証の廃止、マイナ保険証への一本化に不安を抱き、国のスケジュールありきのやり方に批判の声があがっている。</p> <p>厚労省は「医療DX促進のため12月2日に保険証の新規発行を終了する。マイナ保険証の周知に努める」と繰り返すが、マイナ保険証はトラブル続きで8割以上の方がいまだに現行保険証を使っている。マイナ保険証は5年ごとの更新が必要で、更新には3ヶ月以内に役所に出向く必要がある。現行の保険証は期限が来れば新しい保険証が送られてくる。</p> <p>公的医療保険制度では全ての被保険者に遅滞なく保険証を届けることは国と保険者の責任だからである。マイナ保険証ではそれが被保険者の責任にされてしまう。現行保険証の廃止は国民皆保険制度の崩壊につながる。</p>	<p>町長</p>

	紙の保険証を存続することを国に強く求めることと、保険者として今までどおり保険証を発行することを求めその見解を伺う。	
3、来春、廃止予定の鹿渡線、津南原線はどう改善させるのか問う	<p>①令和7年3月末で廃止予定の2路線をどう検討し、住民にはいつ説明するのか伺う。</p> <p>②デマンドタクシーの当日予約、土日運行のための工夫、努力の進捗状況を伺う。</p>	町長
4、学校給食費の無償化を再度求め、中之条町町長の子育て応援への熱い姿勢を学ぶか問う。	<p>小中学校の給食費、2023年度は3割の自治体が完全無償化だ。</p> <p>自治体が学校給食費を無償にしている理由は、保護者の経済的負担軽減・子育て支援・少子化対策などである。</p> <p>今回、議会視察で訪問した中之条町の、子育て応援への町長の熱い姿勢に感銘した。新潟県内では、4市町村(妙高市、阿賀町、湯沢町、弥彦村)では、無償化を行っている。6市町村では学校給食費の一部無償化を行っている。津南町は物価高騰対策や地場産物活用のための食材費の補助などを行っているが、無償化ではなく保護者負担は大きい。</p> <p>・完全無償化がなぜできないのか、一部無償化をなぜできないのか伺う。</p>	町長